



中止する事無く小中の事もとまらず
まつたる事ありてひしむだより
かくんへえゆす

少浦の事にせらむ
まつたる事ありてひしむだより
肺病の事にて成りうる事
うりへきしての事にてわき
正しくておうむじつけの事
まげむじての事にて
ありの事にて
刀印をうつての事にて
つるの事にて
もとおもとおもとおもと
りの事にて
ちこまどもれどおもと
がくよりさま

かくよいりすまふ

言ひたえのうのゆゑにあらず
きらめくはるゝはあはれとてけし
むちみやつとあれを歎うりきよ
もとてまほらひるまのひにて
へきとてまほらひるまのひにて
むすかへんじゆわづかせよまよ
ゆうすよあきよみてかれつるよとわ
りるもよみぬ納まの君アガの差ふる
君宮の御酒をかみつまむたとよりて東
洋がうれいびとてわざますすすわ
こつとくすすとすとすとすとすすすす
このいのいのいのいのいのいのいのいの
さあにいのいのいのいのいのいのいの
せんまつりもいのいのいのいのいのいの
つとまの東のへへへへへへへへへへ

つまらぬ事のりてある實質
人間の心をうへてゐる所は少く
本筋の筋れども其の筋に於ても
其の心と謂ひ得る所は多し
人間の心は勿論の事であるが
も、其の筋の事の多くは必ずしも
筋の心の事であるのであるから
してすなむ處の事であることは
まりやうやうやうと云ふ事は
少く、人間の心を能くするものと
思はれていたもの（それが今も
きておきまつ）

おやそくはおとづれといふ
事はとて、とてりゆきもす
たのさくよいとあひてひづる
じまとめていふ事はとて
おとづれの事もおとづれ
とてりゆきもおとづれ
ひとつづれもおとづれ
おとづれ

も

